

### 資源エネルギー庁及び原子力安全・保安院からの説明

9月30日に議決した「福島第一原子力発電所事故の早期収束と安全対策及び原子力政策の早急な構築を求める意見書」を、10月3日に国に提出しましたが、11月30日の議会全員協議会で、国から説明がありました。

資源エネルギー庁電力・ガス事業部  
原子力立地・核燃料サイクル産業課長

#### 森本英雄氏の説明

・国のエネルギー政策を、「エネルギー環境会議」、「総合資源エネルギー調査会」、「原子力委員会」の三つの会議で検討している。  
・「安全」、「安定供給」、「効率」、「環境」の並立する要請に配慮するため、新たなベストミックス 新たなエネルギーシステム 国民合意の形成について議論がされており、今年には取りまとめる見込みである。

・浜岡原子力発電所については、緊急安全対策は適切に講じられており、法令上の安全基準は満たされている。また、安全確保の信頼性をより一層高めるため、中長期対策が計画されており、更に信頼性向上のためのシビアアクシデント対策を講じている。  
・平成18年9月の新耐震指針の制定に伴い、事業者にはバックチェックの指示を行っているが、今回の東北地方太平洋沖地震の知見を踏まえ、波源域、地震規模、すべり量などを大きくし、波源に時間差を設けるなどの追加解析が必要であり、東海、東南海等の連動も考慮した適切な地震動評価も必要となっている。

#### 質問・意見

**問** 地元の定義は、原発からの距離で一律に引くべきでなく、リスクの高さによって段階的であるべきではないか  
**答** 自治体や議会だけで決定するのではなく、直接住民の意見を聴くべきだが、距離で一律に線を引けるものではない。

**問** 使用済核燃料の処理・処分が行き詰まっている状況下で、再稼働を言える状況ではないと思われるが、国としてどう考えるか  
**答** 六ヶ所村での再処理工場は最終段階で止まっているが、むつ市で中間貯蔵施設を建設している。

**問** 国はエネルギー政策の結論を早く出して欲しい  
**答** 短期的には、安全性が確認できた原発の再稼働を行うが、長期的には、数々の論点で、検証や議論に時間がかかる。

**問** 現在のエネルギーベストミックスは、中期や長期でも考えられないか  
**答** 短期、中期、長期で不連続になつてはいけないので、どのように移行すべきかを議論している。



原子力安全・保安院  
浜岡原子力保安検査官事務所長

#### 橋本唯一氏

原子力発電安全審査課  
耐震安全審査室 上席安全審査官

#### 御田俊一郎氏

原子力発電検査課  
課長補佐

#### 忠内殿大氏の説明

・浜岡原子力発電所については、緊急安全対策は適切に講じられており、法令上の安全基準は満たされている。また、安全確保の信頼性をより一層高めるため、中長期対策が計画されており、更に信頼性向上のためのシビアアクシデント対策を講じている。  
・平成18年9月の新耐震指針の制定に伴い、事業者にはバックチェックの指示を行っているが、今回の東北地方太平洋沖地震の知見を踏まえ、波源域、地震規模、すべり量などを大きくし、波源に時間差を設けるなどの追加解析が必要であり、東海、東南海等の連動も考慮した適切な地震動評価も必要となっている。

#### 質問・意見

**問** シビアアクシデントが発生し、原子炉へ張り巡らされた配管損傷が起きた場合への対処は、また、復水貯蔵槽には、どの程度の水が確保されているか  
**答** 緊急安全対策で、炉心冷却水源は確保されており、復水貯蔵槽からポンプで注水できることになっている。繋がる配管については、想定地震への耐久性は確保されている。万が一破損した場合には、消防車やポンプに消防用ホースを接続して対応できる。また、復水貯蔵槽の容量は、最低限8時間程度使用可能である。

**問** シビアアクシデントが発生し、原子炉へ張り巡らされた配管損傷が起きた場合への対処は、また、復水貯蔵槽には、どの程度の水が確保されているか  
**答** 緊急安全対策で、炉心冷却水源は確保されており、復水貯蔵槽からポンプで注水できることになっている。繋がる配管については、想定地震への耐久性は確保されている。万が一破損した場合には、消防車やポンプに消防用ホースを接続して対応できる。また、復水貯蔵槽の容量は、最低限8時間程度使用可能である。

**問** 水素爆発防止対策について、建屋頂部に開口部を設けるよう、中長期対策で対応するようになっていないが、早急に取り組むべきと思うがどうか  
**答** 緊急措置として、建屋の天井に穴を開ける機材を設置するよう指示している。水素検知器が作動して、ベント装置で排気できる設備が理想だが、前倒しできないか事業者に指示する。

**問** 防波壁の工事が始まったが、どれくらいの頻度で立会い検査に行くか。また、廃炉となった1・2号機に保存されている使用済燃料はどうするのか  
**答** 工事のタイミングやポイントにより異なるが、週に1回程度になる。使用済燃料については、担当部署が違つて後日回答する。

**問** 浜岡原子力発電所については、まだバックチェックが評価されていないが、いつ頃になるか  
**答** 海溝型地震の影響は、太平洋側で受け、福島での津波は、数箇所の波源から生じた複数の波で大きな津波となった。中央防災会議や地震調査委員会、南海トラフをどう扱つかの結果を踏まえる必要があるため、検討に時間が掛かっている。平成24年春頃には評価を完了したい。

**問** 御前崎沖から浜名湖にかけて、約15の海溝があるが、東海地震で全てが動く可能性があるか  
**答** プレート型地震だけでなく、活断層との連動も考慮して評価している。

**問** 御前崎沖から浜名湖にかけて、約15の海溝があるが、東海地震で全てが動く可能性があるか  
**答** プレート型地震だけでなく、活断層との連動も考慮して評価している。



## 議事を傍聴しませんか?

### 2月定例会の予定

2月定例会は2月24日(金)から3月21日(水)までの27日間の会期で開催される予定です。日程は変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(電話 85-1115)までお問い合わせください。

- 2月 24日(金) 本会議 (議案説明)
- 3月 6日(火) 本会議 (質疑・一般質問)
- 7日(水) 本会議 (一般質問)
- 8日(木) 総務経済委員会・文教厚生委員会
- 9日(金) 総務経済委員会
- 12日(月) 文教厚生委員会
- 14日(水) 特別委員会
- 21日(水) 本会議 (質疑・討論・採決)

### 政治家の年賀状は禁止されています

政治家(候補者・候補者となつとすること者・現に公職にある者)は、公職選挙法により選挙区内の人に対してあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことが禁止されています。皆様のご理解をお願いいたします。

### 第2回 臨時議会

議員定数の減員と議員報酬削減の再議決の請願が提出される

御前崎市議会第2回臨時議会が11月24日に開催されました。6月の定例会で否決された発議第1号「御前崎市議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について」及び発議第2号「御前崎市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について」の2議案の再議決を求める請願の採択については、賛成6反対9で不採択となりました。

### 議会の動き

11月	1日 県市議会議長会正副会長会議・定期総会 2日 大井川広域水道企業団運営協議会 4日 志太榛原五市二町議会議長連絡協議会議員研修会 7日 総務経済委員会 議会運営委員会 11日 議会運営委員会 全国市議会議長会評議員会 14日 原子力対策特別委員会視察研修(15日まで) 17日 県地方議会議長連絡協議会政策研修会 18日 議会全員協議会 総合開発計画策定特別委員会 中東遠地区市議会議長協議会 24日 議会運営委員会 議会臨時会 30日 12月議会定例会本会議(初日) 議会全員協議会	10月	11日 県西部地区市議会議長協議会 12日 議会広報特別委員会 県原子力発電所環境安全協議会 18日 中東遠看護専門学校組合議会定例会 19日 議会全員協議会 議会広報特別委員会 文教厚生委員会 20日 東海市議会議長会理事會 21日 議会広報特別委員会 24日 三遠南信地域町村議会議長協議会総会 三遠南信、浜松三ヶ日、豊橋道路建設促進議員協議会 三遠南信サミット2011 in 遠州 25日 全国市議会議長会基地協議会東海部会定期総会 26日 総務経済委員会 27日 全国原子力発電所立地市町村議会議長会 役員会	12月	2日 御前崎市牧之原市学校組合議会定例会 13日 12月議会定例会本会議(質疑・一般質問) 14日 12月議会定例会本会議(一般質問) 15日 総務経済委員会 文教厚生委員会 16日 総合開発計画策定特別委員会 原子力対策特別委員会 20日 議会運営委員会 下水道事業特別委員会 22日 議会運営委員会 12月議会定例会本会議(最終日) 議会全員協議会 26日 県原子力発電所環境安全協議会
-----	---	-----	--	-----	---

**編集委員会**

委員長 岩瀬初代  
副委員長 曾根正浩  
大澤博克  
望月ゆう子  
事務局 大森祥晴